事業活動環境報告書のまとめ

1　報告書提出事業者数

区分	令和3年度	令和4年度	増減	要因
報告書提出事業者数	93	91	−2	特定事業者の要件を満たさなくなったため

2　二酸化炭素換算温室効果ガス排出量（産業分類別）

部門	大分類記号	大分類名	二酸化炭素換算温室効果ガス排出量[t−CO2] 令和3年度 (a)	令和4年度 (b)	(割合)	増減 (b)−(a)	増減率 {(b)−(a)}/(a)	減少要因（上位3業種）
産業部門	A	農業、林業	0 t	0 t	0	0 t	(± 0%)	
	B	漁業	0 t	0 t	0	0 t	(± 0%)	
	C	鉱業、採石業、砂利採取業	0 t	0 t	0	0 t	(± 0%)	
	D	建設業	0 t	0 t	0	0 t	(± 0%)	
	E	製造業	757,588 t	751,495 t	(46.7%)	▲ 6,093 t	(▲ 0.8%)	＜製造業＞
	小計		**757,588 t**	**751,495 t**	**(46.7%)**	**▲ 6,093 t**	**(▲ 0.8%)**	・電気事業者の変更による排出係数の低下
業務部門	F	電気・ガス・熱供給・水道業	145,118 t	146,543 t	(9.1%)	+ 1,425 t	(+ 1.0%)	・工場非稼働時の待機電力削減
	G	情報通信業	84,926 t	83,851 t	(5.2%)	▲ 1,075 t	(▲ 1.3%)	
	H	運輸業、郵便業	2,709 t	2,757 t	(0.2%)	+ 48 t	(+ 1.8%)	
	I	卸売・小売業	202,465 t	188,629 t	(11.7%)	▲ 13,836 t	(▲ 6.8%)	＜卸売・小売業＞
	J	金融業・保険業	14,442 t	13,449 t	(0.8%)	▲ 993 t	(▲ 6.9%)	・電気事業者の排出係数の低下
	K	不動産業、物品賃貸業	25,698 t	26,155 t	(1.6%)	+ 457 t	(+ 1.8%)	・空調機・冷凍機を高効率な機器へ入替
	L	学術研究、専門・技術サービス業	0 t	0 t	(0.0%)	±0 t	(± 0%)	
	M	宿泊業、飲食サービス業	26,196 t	26,806 t	(1.7%)	+ 610 t	(+ 2.3%)	・新店・改装店への省エネ投資実施
	N	生活関連サービス業、娯楽業	0 t	0 t	(0.0%)	±0 t	(± 0%)	
	O	教育、学習支援業	19,047 t	19,759 t	(1.2%)	+ 712 t	(+ 3.7%)	＜公務（他に分類されるものを除く）＞
	P	医療、福祉	66,269 t	64,622 t	(4.0%)	▲ 1,647 t	(▲ 2.5%)	・電気事業者の排出係数の低下
	Q	複合サービス業	7,645 t	7,906 t	(0.5%)	+ 261 t	(+ 3.4%)	・環境マネジメントシステムの運用による取り組みの成果
	R	サービス業（他に分類されないもの）	0 t	0 t	(0.0%)	±0 t	(± 0%)	
	S	公務（他に分類されるものを除く）	295,742 t	277,831 t	(17.3%)	▲ 17,911 t	(▲ 6.1%)	
	小計		**890,257 t**	**858,308 t**	**(53.3%)**	**▲ 31,949 t**	**(▲ 3.6%)**	
総合計			**1,647,845 t**	**1,609,803 t**	**(100.0%)**	**▲ 38,042 t**	**(▲ 2.3%)**	

※ ：温室効果ガス排出量の多い上位2業種を示す。（　）書きは、業種別の温室効果ガス排出量の割合を示す。
：温室効果ガス排出量が減少した上位3業種を示す。

3　原油換算エネルギー使用量（産業分類別）

部門	大分類記号	大分類名	原油換算エネルギー使用量[kl] 令和3年度 (a)	令和4年度 (b)	(割合)	増減 (c)=(b)−(a)	増減率 {(b)−(a)}/(a)	減少要因（上位3業種）
産業部門	A	農業、林業	0 kl	0 kl	0	+ 0 kl	(± 0%)	
	B	漁業	0 kl	0 kl	0	+ 0 kl	(± 0%)	
	C	鉱業、採石業、砂利採取業	0 kl	0 kl	0	+ 0 kl	(± 0%)	
	D	建設業	0 kl	0 kl	0	+ 0 kl	(± 0%)	
	E	製造業	260,814 kl	269,799 kl	(41.7%)	+ 8,985 kl	(+ 3.4%)	＜卸売・小売業＞
	小計		**260,814 kl**	**269,799 kl**	(41.7%)	**+ 8,985 kl**	(+ 3.4%)	・空調機・冷凍機を高効率な機器へ入替
業務部門	F	電気・ガス・熱供給・水道業	72,702 kl	72,904 kl	(11.3%)	+ 202 kl	(+ 0.3%)	・新店・改装店への省エネ投資実施
	G	情報通信業	43,663 kl	44,816 kl	(6.9%)	+ 1,153 kl	(+ 2.6%)	
	H	運輸業、郵便業	1,396 kl	1,419 kl	(0.2%)	+ 23 kl	(+ 1.6%)	
	I	卸売・小売業	101,679 kl	96,949 kl	(15.0%)	▲ 4,730 kl	(▲ 4.7%)	＜金融業・保険業＞
	J	金融業・保険業	6,908 kl	6,451 kl	(1.0%)	▲ 457 kl	(▲ 6.6%)	・営業店舗の空調設備及び照明設備を高効率タイプに更新
	K	不動産業、物品賃貸業	12,839 kl	12,989 kl	(2.0%)	+ 150 kl	(+ 1.2%)	
	L	学術研究、専門・技術サービス業	0 kl	0 kl	(0.0%)	± 0 kl	(± 0%)	・営業時間外のロビー等の不要な照明の消灯
	M	宿泊業、飲食サービス業	13,019 kl	13,906 kl	(2.1%)	+ 887 kl	(+ 6.8%)	
	N	生活関連サービス業、娯楽業	0 kl	0 kl	(0.0%)	± 0 kl	(± 0%)	
	O	教育、学習支援業	9,384 kl	9,693 kl	(1.5%)	+ 309 kl	(+ 3.3%)	＜医療・福祉＞
	P	医療、福祉	32,423 kl	31,961 kl	(4.9%)	▲ 462 kl	(▲ 1.4%)	・外来エリアの冷暖房の設定温度や運転時間の適正化
	Q	複合サービス業	5,558 kl	5,600 kl	(0.9%)	+ 42 kl	(+ 0.8%)	・老朽化の空調機器の更新
	R	サービス業（他に分類されないもの）	0 kl	0 kl	(0.0%)	± 0 kl	(± 0%)	
	S	公務（他に分類されるものを除く）	79,283 kl	80,321 kl	(12.4%)	+ 1,038 kl	(+ 1.3%)	
	小計		**378,854 kl**	**377,009 kl**	**(58.3%)**	**▲ 1,845 kl**	(▲ 0.5%)	
総合計			**639,668 kl**	**646,808 kl**	**(100.0%)**	**+ 7,140 kl**	(+ 1.1%)	

※ ：エネルギー使用量の多い上位2業種を示す。（　）書きは、業種別のエネルギー使用量の割合を示す。
：エネルギー使用量が減少した上位2業種を示す。